

熊本矯正歯科研究会

NEWS LETTER

平成 30 年度（秋季）

事務局：きょうごく矯正歯科・小児歯科クリニック内
〒862-0963 熊本市南区出仲間
TEL 096-334-6055 FAX 096-334-6057



平成 30 年度 熊本矯正歯科研究会（H30.6.9）『和数奇司館ホテル』にて

会長挨拶



熊本矯正歯科研究会会長 やまべ矯正歯科クリニック 山部耕一郎

会員の先生方におかれましてはご健勝にご活躍のこととお慶び申し上げます。
この夏は、猛暑というより酷暑でした。気温37～8度が当たり前のような夏でしたね。
それから広島での水害など、近年の異常気象に振り回されることばかりでした。
さて、11月10日に予定しております特別講演には大阪市と芦屋市とでご開業されている有本博英先生をお迎えします。
有本先生は口腔内スキャナーを利用した斬新な矯正歯科治療や、M00 フィロソフィーと呼ばれる理論に基づく非抜歯治療など、画期的な方法を用いて臨床分野でご活躍中です。我々の臨床においても新しいヒントを得る、またとない機会になると思います。熊本矯正歯科研究会では、会員の先生方のご意見を元に、今後とも様々な情報提供を行っていききたいと思います。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

○ 平成 30 年・31 年度役員

監事：木村治幸・太田文隆

会長：山部耕一郎 副会長：山本資治・犬童寛治

事務局：京極和彦 会計：上村裕希 学術：池上富雄・久永 豊 運営：分山英次

ホームページ関連：近藤俊輔 広報：平良幸治

平成 30 年度前期の主な活動

○ 第 2～7 回理事会

ほぼ月一回のペースで役員会を行っています。2017 年 12 月 4 日、2018 年 1 月 22 日、2018 年 3 月 12 日、2018 年 5 月 28 日、2018 年 7 月 9 日と計 5 回役員会を開催しております。

○ 歯の祭典

6 月 3 日に歯の祭典が開催され、出務者の山部先生、京極先生、太田先生、上村先生、近藤先生、平良先生が歯並びの相談を行いました。

○ 平成 30 年度総会（2018 年 6 月 9 日）

和数奇司館ホテルにて、平成 30 年度総会が開催され、7 名（役員・理事除く）の先生にご出席いただきました。委任状 38 名と合わせて計 45 名、総会員の 1/2 を超えていることから本総会が成立し、議長に赤尾浩彦先生、議事録署名人に下山文江先生・鬼塚研志先生が選出され総会が行われました。

1) 報告事項

- ・ 総務、会計、ホームページ関連、広報について、それぞれ担当者から報告されました。

2) 審議事項

- ・ 平成 29 年度決算の承認を求める件・・・平成 29 年度決算報告に対して賛成多数で承認を得ました。
- ・ 平成 30 年度予算案の承認を求める件・・・平成 30 年度予算案に対して賛成多数で承認を得ました。

以下の事項につきましては選挙管理委員の下山文江先生から会長および監事の立候補届が受理されたとの報告がありました。

- ・ 平成 30 年度・31 年度会長選出の承認を求める件・・・賛成多数で山部耕一郎先生が会長として承認されました。
- ・ 平成 30 年度・31 年度監事選出の承認を求める件・・・賛成多数で木村治幸先生と太田文隆先生が監事として承認されました。

3) 報告事項

2020 年開催九州矯正歯科学会熊本大会の準備状況について、準備委員会事務局の犬童寛治先生から以下の報告がありました。

- ・ 現段階で 6 回の準備委員会を開催しています。
- ・ 会場は市民会館（シアーズホーム）と国際交流会館を押さえてあります。
- ・ 今の所準備は順調に進んでいますが、今後熊本矯正歯科学研究会の会員の先生方にも協力をお願いすることがあるかもしれませんのでその節は宜しく願いいたします。

4) その他

事務局からの報告で、今年度秋の講演会についての報告がありました。

- ・ 11 月 10 日にパレアにて開催いたします。

講演会は有本博英先生（医療法人イースマイル国際矯正歯科理事長）をお願いしています。



総会時の様子です。

総会に引き続き、会員発表と特別講演会が行われました。

会員発表 『開業から1年経過して』

ひかり矯正歯科 院長 平良 幸治 先生

菊池郡光の森でご開業されていらっしゃる平良先生のご発表です。沖縄出身でいろんな県にいかれ開業する経緯について発表されました。開業から一年経過して思ったことをご講演いただきました。最後には症例発表して皆様、熱心に拝聴されておられました。

特別講演 「口腔外科領域における実物大立体模型の臨床応用と3D技術の有用性について」

熊本大学大学院生命科学研究部歯科口腔外科学講座 中山 秀樹 教授



熊本大学大学院生命科学研究部歯科口腔外科学講座の中山秀樹教授にご講演いただきました。近年の3D技術の進歩や歯科のみならず医科の様々な医療分野で3D技術が応用されていて、手術器具の位置情報をCTやMRの画像情報に重ね合わせて画面表示し外科手術を支援するナビゲーションシステムを用いて手術を行えば、解剖学的にアクセスの難しい部位であっても、安全に手術を行うことが可能であることを御講話いただきました。

現在、熊本大学医学部附属病院の歯科口腔外科では、主に顎変形症や口腔腫瘍の患者に対して実物大立体模型を3Dプリンターで作製し、診断と治療を行った症例を熱く語られ、会場にいた会員の先生方も皆、興味深いお話に惹き込まれていました。

懇親会スナップ



和やかなムードの中、山部耕一郎先生の会長挨拶、御講話いただいた中山秀樹先生のお言葉に始まり、若江秀敏先生の乾杯により、賑やかに祝賀会が開催されました。

最後には中嶋隆志先生の万歳三唱により、盛会のうちに閉会しました。

今後の予定とお知らせ

- 平成 30 年 11 月 10 日（土）に平成 30 年度熊本矯正研究会・講演会・忘年会にて、矯正治療に於いて多方面でご活躍中の有本博英先生に御講話を賜ります。会員の皆様にも大変興味深い講演になるものと、理事会一同大変期待しております。スタッフお誘い合わせの上ぜひご参加くださいませ。



医療法人イースマイル国際矯正歯科理事長

有本 博英 先生

略歴

和歌山生

1991 年 大阪歯科大学、1995 年同大学院卒（歯科矯正学）

1996 年 大阪歯科大学助手（歯科矯正学講座）

2001 年 矯正専門開業

所属

日本非抜歯矯正研究会創設メンバー マスター会員

米国アングルスサエティレギュラーメンバー

カナダ Biolux Research 社キーオピニオンリーダー

アラインテクノロジー社インビザラインクリニカルスピーカー

『非抜歯矯正治療- Molar Oriented Orthodontics の実際（医歯薬出版 2011）』共著者

『一歩抜け出す未来志向の歯科医ライフ（医歯薬出版 2014）』共著者

講演タイトル

「デジタルで変わる矯正治療」

抄録

MIT メディアラボのニコラスネグロポンテが 1995 年に著書“ビーイングデジタル”で予言したのは、情報の Bit 化によって激変する日常生活についてであった。現在、そのほとんどが現実のものとなっている。歯科領域ではこの数年で口腔内スキャナーが普及し始め、歯の形態データの Bit 化が始まった。口腔内形態データが bit 化されるということは、歯の移動の数学的解析が可能になるということであり、治療ゴールの設定から歯の移動様式に至るまで、これまでのマルチブラケット治療とは異なる新しい治療の組み立てが必要になる。この、デジタルアライナー矯正治療の分野は飛躍的に発展しつつあり、多くの症例がマウスピース型矯正装置によって治療できるようになってきた。また、連携ドクターや患者とのコミュニケーション様式も大きく変わり、矯正歯科治療の『あり方』についても大きく変化してきた。我々はまさにこの変化の渦中にあるといえる。本講演では、マウスピース型矯正治療でここまで治せるのか、矯正歯科専門オフィスはどのように変わってきたのかについて演者の経験を紹介する。

（編集：広報担当理事 平良 幸治）

熊矯ホームページは、 <http://kumakyouseiken.com/>

熊本矯正研究会のニュースレターはホームページからもご覧できます。是非ご覧くださいませ。

会費未納の会員の先生方は早急に納入くださるようお願い致します。